



メキシコ旅行：ジャングルで

達の関係と同じように大切であると感じ始めました。留学における悩みや相談を一番伝えやすいのはやはり日本語ですし、日本人同士だからこそ分かり合えることもたくさんあります。そしてなにより大きかったのは、ボストンに一緒に行った日本人の友人たちとの関係です。みんな同じ時期に就職活動を始めるため、自分たちの将来について不安を抱いていました。そういった友達とお互いの意見を出して批判し合うことで、自分たちそれぞれの良いところも悪いところも見えてきました。早稲田生はあまり賢くないのかもしれませんが。でも、こういった地道な進歩から、お互いが少しずつ成長していけるのではないかと思います。

メキシコ旅行

冒頭で申し上げた通り、私は今この留学記をメキシコで書いています。留学先で仲良くなった韓国人2人と、私を含めた日本人2人での旅行です。航空券や宿の手配、その他すべてを自分たちで計画しました。首都メキシコシティからビーチリゾート地カンクンまでの、2週間の旅です。

ある日、13時間のバスでの移動の途中、韓国人の子とお互いの政治の話をする機会がありました。その時彼女は「日本人は好き。日本の文化も好き。でも、日本の政治は嫌い。」と話してきました。彼女は竹島問題、歴史教科書などの例を出し、日本と韓国が抱える問題について語りかけてきました。私にとって、それは大きなショックでした。もちろん私も歴史を学びましたし、私なりに考えてきたつもりでした。しかし、留学先で韓国人や中国人の友達と会話をするときに、歴史について考えることはありませんでした。「韓国人」や「中国人」として友達を見るというよりは、一人の人間として、性格や人間性を見て、友達関係を築いてきたのです。とりわけ韓国人の友人とは似たような文化や考え方を持っているので、すぐに友達になることができました。

でもその会話以来、私は一人の人間であると同時に、日本人の内の一人であるということを強く認識させられました。確かに、留学先ではいろんな国の人と知り合う機会があり、友達になることができます。人と人が付き合うときは、国籍を超えたつながりがあるのでしょうか。しかし、それと同時に忘れてはならないのが、私が日本人であること、そして私の意見やふるまいが、日本人を代表してしまうということ。人と人とのつながりを超えてお互いの国民性を理解して初めて、本当の意味での国籍を超えた友人関係が築けるのかも知れません。

☆

私たち4人のメキシコ旅行も、残すところあと3日間。そろそろクリスマスがやってきます。私はみんなと別れて独りキューバに行き、その後サンディエゴに移ってから、ルームメイトとイギリスから来る彼の家族と一緒に過ごすつもりです。その後、再びメキシコを訪れて、そこで年越しをしようかと考えています。

みんなにとって、素敵なクリスマス、そして素晴らしい新年が迎えられますように。
(12月16日)



メキシコ旅行：旅先で知り合った人々と

清沢 健二 (きよさわ けんじ)

早稲田大学教育学部3年
9月から1年間、オレゴン州 Oregon University に留学中。



清沢君の留学は大学3年生で、1年間だけです。そのため、就職活動で東部へ、体験旅行でメキシコ・キューバへと、休みを有効に利用して、大忙しです。

本誌に「なぜ留学生のエッセイ？」と質問をいただきました。「日本の大学生の生活や考え方を知っていただきたい」が回答です。早稲田の私のクラスにも、帰国子女で留学する学生がいます。そのときの参考に。

また、ここで清沢君が紹介してくれたキャリア・フォーラムには、留学生だけではなく、皆さんのお子さんのようにアメリカの高校卒業後に地元の大学に進学した日本人の学生が多く参加します。将来の参考に。

それにしても、清沢君、留学もあと半年だけ。勉強は大丈夫？